



「聖なる者となりなさい。
私が聖なる者だからである。」
I ペトロ 1:16

URL <http://www.jhc.or.jp>

1-30-1, Megurita-cho Higashimurayama-shi Tokyo, 189-8512 JAPAN
〒189-8512 東京都東村山市廻田町 1-30-1 Tel 042(394)7466 Fax 042(392)2877 E-mail jhc-honbu@jhc.or.jp



2021年1月6日

全国の牧師先生方、役員の皆さまへ

日本ホーリネス教団
委員長 島津 吉成
総務局長 佐藤 信人

【第16報】新型コロナウイルス感染症への対応に関して

主の聖なる御名をたたえます。

新しい年を迎えましたが、新型コロナウイルスの感染拡大は続き、明日7日にも東京、神奈川、埼玉、千葉の1都3県に対して緊急事態宣言が政府より発令されようとしています。この報道を受けて、対象地域にある諸教会におかれましては、どのような対応を取るべきかを検討していただけることと思います。その感染状況は地域差があり、また諸教会の状況（会堂の広さや設備、集まる人数等）が異なりますので、教団としましては、一律に指示を出すようなことはせず、これまでと同様、それぞれの教会で取り得る対策を考えていただきたいと思います。

留意していただくべき一つのことは、政府による緊急事態宣言の対象地域であるかどうかによって対応を変えるというのではなく、感染レベルに合わせて対応を変えていただく必要がある、ということです。それぞれの地域の感染状況を判断する指標につきましては、前回の【第15報】でお伝えしましたように、政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会による「4つのステージと6指標」を判断の基準にさせていただくのがよいと思います。それによりますと、

ステージ1（感染者の散発的発生） ステージ2（感染者の漸増）
ステージ3（感染者の急増） ステージ4（爆発的な感染拡大）

<参照> <https://hazard.yahoo.co.jp/article/20200813>

となっています。特に、より厳しい対策が必要となるのはステージ3、あるいはステージ4に至った地域です。ステージ3は「直近1週間の人口10万人あたりの感染者数」が15人以上、ステージ4は25人以上とされています。この指標によりますと（1/5時点）、ステージ4の地域は（多い順に）東京、神奈川、栃木、京都、ステージ3は埼玉、千葉、大阪、岐阜、福岡、愛知、沖縄、兵庫、広島、宮崎、奈良、長崎となっています。最新データは次のサイトで確認できます。<https://web.sapmed.ac.jp/canmol/coronavirus/japan.html?s=y&y=0>（このデータは人口100万人あたりの数値となっています）



「聖なる者となりなさい。
私が聖なる者だからである。」
I ペトロ 1:16

URL <http://www.jhc.or.jp>



1-30-1, Megurita-cho Higashimurayama-shi Tokyo, 189-8512 JAPAN

〒189-8512 東京都東村山市廻田町 1-30-1 Tel 042(394)7466 Fax 042(392)2877 E-mail jhc-honbu@jhc.or.jp

もう一点、教会の諸集会在緊急事態宣言による協力要請の対象に該当するか否かによって対策を考えるのではなく、教会における集会の場合、一定の時間、多人数が一つの場所に留まり、さらに賛美や説教などによる発声に伴いますので、対象外の映画館等よりもリスクの高いイベントとなります。そこで、教会内での感染を抑えるために、自主的な対策を講じる必要があります。

感染が拡大している地域（ステージ3あるいは4）では、無症状感染者が集会に出席しているという前提で、それでも他の方に感染しないようにより厳しい対策が必要となります。基本的な対策につきましては、【第14報】（2020年9月4日付）に詳しく記載しておりますので、そちらを参考にしてください。その上で、改めてお願いしたいことは、＜三密の回避＞の徹底です。

①密閉の回避（換気の徹底）

- ・教会では、現在飲食は行われていないと思いますので、現時点で最も重要な対策は換気を徹底することです。最も望ましいのは、2方向の窓（あるいはドア）を開けておくことです。実際、ある教会では潜伏期間にあった感染者が礼拝に出席しておられましたが、常時換気を行っていたこともあり、他の会員への感染は免れたという報告を受けています。
- ・寒冷地域にある教会、あるいは隣家との距離が近い教会の場合、集会中に常時窓を開けておくことは難しいことでしょう。その場合も、30分に1回程度、5分間ほど対角線の窓を全開して空気を入れ換えるようにしてください。このとき、扇風機等を使用するとより効果的だと言われています。
- ・十分な換気が行われているかどうかを確認するために、市販されている二酸化酸素濃度を測定する機器を用いる方法もメディア等で紹介されていますので、参考にしてください。

②密集・密接の回避（身体的距離の確保）

- ・厚生労働省が提示した「新しい生活様式」では、人との距離をできるだけ2m（最低1m）空けるように推奨しています。ステージ3あるいは4の地域では、隣りの人との距離を確保できるように座席の位置をもう一度見直し、1回の集会に集まることができる人数の上限をこれまでよりも少なくする対応が必要となります。このため、礼拝の回数を増やす、あるいはオンラインでの礼拝に振り分ける、などの対応をどうぞご検討ください。
- ・会堂の広さなどから、どうしても十分な距離を確保できない場合は、賛美を控え、常時換気を行うなど、他の対策で感染リスクを下げることをお考えください。



「聖なる者となりなさい。
私が聖なる者だからである。」
I ペトロ 1:16

URL <http://www.jhc.or.jp>



1-30-1, Megurita-cho Higashimurayama-shi Tokyo, 189-8512 JAPAN

〒189-8512 東京都東村山市廻田町 1-30-1 Tel 042(394)7466 Fax 042(392)2877 E-mail jhc-honbu@jhc.or.jp

③マスクの着用

・マスクの着用はすでに徹底されていることと思いますが、教会によっては司式者や説教者はマスクを外して話すケースがあるかもしれません。これにつきましても、ステージ3あるいは4の地域では、常時マスク着用での奉仕が望ましいと考えられますので、再考をお願いいたします。

これらの感染予防対策につきまして、文部科学省が小中学校に向けて出しました「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」を参考資料として添付いたします。この資料の33ページから43ページに「集団感染のリスクへの対応」という項目がありますので、どうぞ参考になさってください。

なお、具体的な対応について判断に迷い、相談を必要とする場合は、総務局長・佐藤信人（022-234-5385、sendainankou@ybb.ne.jp）までお問い合わせください。

寒さが最も厳しい季節を迎え、感染状況のさらなる悪化が懸念される中、牧師をはじめとする諸教会の上に、主の限りない憐れみと助けがあることを切にお祈りいたします。また、懸命な対応が続く医療従事者や保健所等の多くの方々の働きが支えられますように。

この年も、皆さまの教会の上に、主の守りと祝福が豊かにありますようお祈りいたします。

「その地は、あなたの神、主が顧みられる所で、年の始めから年の終わりまで、
あなたの神、主の目が常にその上にある。」（申命記 11 章 12 節／口語訳）

主にありて